Hitachi Koki
POWER TOOLS for PROFESSIONAL

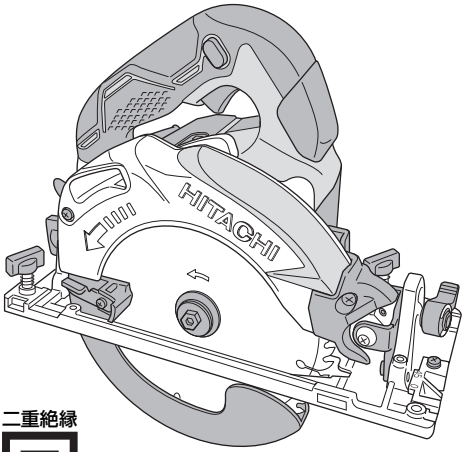
# 取扱説明書

用途
●各種木材の切断
●各種化粧板、薄物樹脂板、軟質新建材の切断

## 日立深切り電子丸のこ 165mm C 6MEY

## 日立深切り電子造作丸のこ 165mm C 6UEY

このたびは日立深切り電子丸のこ / 深切り電子造作丸のこをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。




二重絶縁

C6MEY


はじめに
電動工具の安全上のご注意…… 1
二重絶縁について…… 4
本製品の使用上のご注意…… 4
各部の名称…… 7
仕様…… 8
標準付属品…… 8
別売部品…… 9

使い方
ご使用前の準備…… 10
ご使用前の点検…… 11
各種調整方法について…… 14
各種操作方法について…… 19
別売部品の取付け方…… 21
キックバックについて…… 25
キックバック軽減システムについて … 26
直角に切断する…… 27
傾斜切断する (+45˚方向 ) …… 29
傾斜切断する (−5˚方向 ) …… 31
のこ刃の交換…… 33

その他
保守・点検…… 35
故障診断…… 38
ご修理のときは……裏表紙


HITACHI

## ⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

**⚠警告** ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

**⚠注意** ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

**注** ：**製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

# 電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ⚠警告

**① 作業場は、いつもきれいに保ってください。**

ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

**② 作業場の周囲状況も考慮してください。**

- 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

**③ 感電に注意してください。**

電動工具を使用中、身体を、アース ( 接地 ) されているものに接触させないようにしてください。

（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

**④ 子供を近づけないでください。**

- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

**⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。**

乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

## ⚠警告

**⑥ 無理して使用しないでください。**

安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

**⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。**

- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

**⑧ きちんとした服装で作業してください。**

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

**⑨ 保護メガネを使用してください。**

作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

**⑩ 防音保護具を着用してください。**

騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

**⑪ コードを乱暴に扱わないでください。**

- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

**⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。**

加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

**⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。**

常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

**⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。**

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードを点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

## ⚠警告

**⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

- 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
- 刃物、トイシ、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

**⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**

電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

**⑰ 不意な始動は避けてください。**

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

**⑱ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。**

屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

**⑲ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。**

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

**⑳ 損傷した部品がないか点検してください。**

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

**㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**

この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

**㉒ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。**

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

# 二重絶縁について

二重絶縁とは、電源部と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に ⊡ マークで表示してあります。
純正品以外の部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

# 本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、深切り電子丸のこ / 深切り電子造作丸のことして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

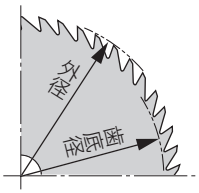
## ⚠警告

① **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。

② **直流電源、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。**
製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

③ **保護カバーは、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。**
のこ刃が露出していると、けがの原因になります。

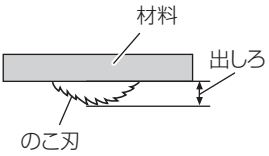
④ **のこ刃は、銘板に表示してある範囲内ののこ刃を使用してください。また、歯底径が 134mm 以下ののこ刃は使用しないでください。**
保護カバーのおおいが不完全となり、けがの原因になります。




⑤ **切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでのこ刃がはさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。**
のこ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。

⑥ **切断する材料は、安定性のよい台に置いてください。**
台が不安定であると、けがの原因になります。

⑦ **材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。また、切り落とした材料がのこ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、のこ刃の出しろの３倍以上にしてください。**
このような台がないと、けがの原因になります。



## ⚠警告

⑧ **使用中は、本製品を確実に保持してください。**
確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。

⑨ **使用中は、のこ刃や回転部、切りくずの排出部へ手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。

⑩ **切断途中で、のこ刃を回転させたまま本体を戻さないでください。必ずスイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにしてください。**
回転させたまま本体を戻したり、持ち上げると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。

⑪ **ベンチスタンドを使用する場合は、スタンドを固定してください。**
**また、接触予防装置（保護カバー）を必ず取付けてください。**
ベンチスタンドがぐらついたり、接触予防装置がないと、けがの原因になります。

⑫ **使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音、異常振動がするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用すると、けがの原因になります。

⑬ **誤って落としたり、ぶつけたときは、のこ刃や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

## ⚠注意

① **刃物類（のこ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。**
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

② **のこ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。**
のこ刃が破損し、けがの原因になります。

③ **使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。**
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

## ⚠注意

④ **作業前に、周囲の安全を確認してから空転させ、本体の振動やのこ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。**
異常があると、思わぬ動きをして、けがの原因になります。

⑤ **ブレーキが働くときの反発力に注意してください。**
本体を落としたりし、けがの原因になります。

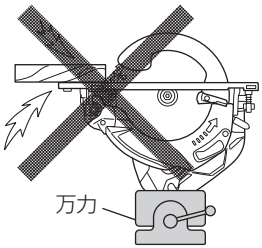
⑥ **切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。**
強い反発力が生じ、けがの原因になります。

⑦ **材料に釘などの異物がついてないことを確認してください。**
刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。

⑧ **切断しようとする材料の上に手を置いたり、コードを材料の上にのせたまま作業しないでください。**
手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。

⑨ **回転するのこ刃で、コードを切断しないよう注意してください。**
感電の恐れがあります。

⑩ **本体を万力などで保持した使い方はしないでください。**
不意の接触などで、けがの原因になります。

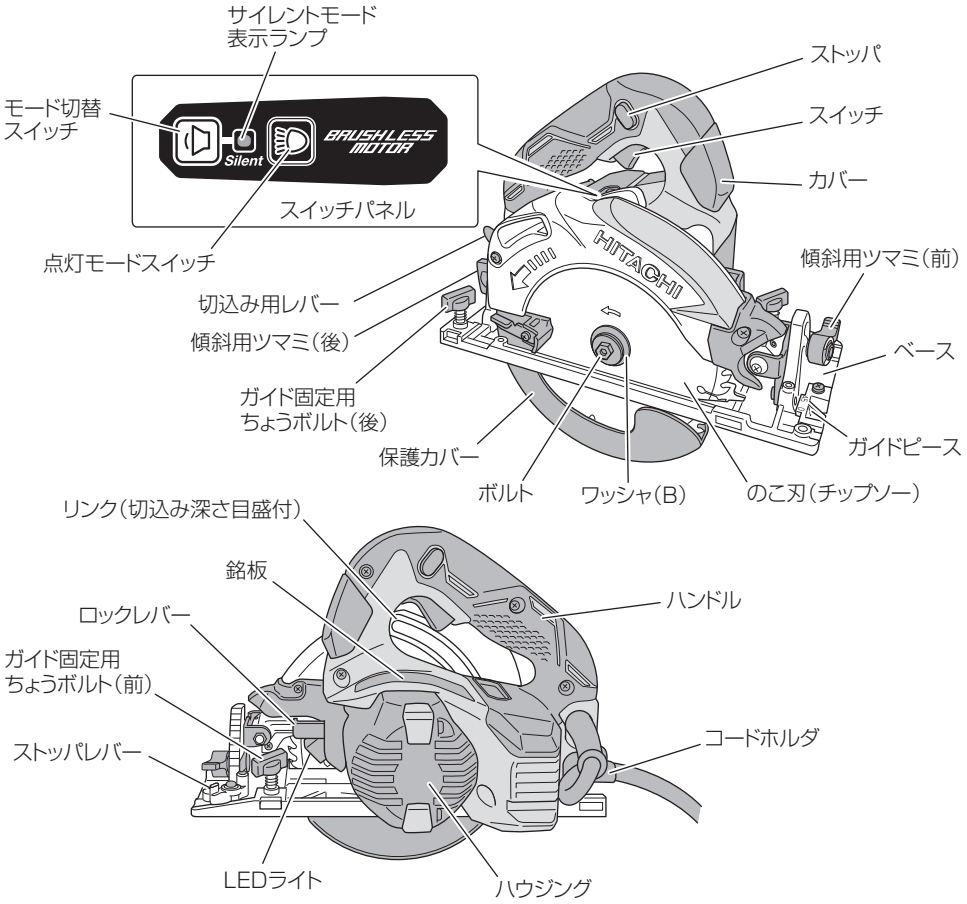



⑪ **高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。**
本製品や材料などを落としたとき、事故の原因になります。

⑫ **回転させたまま、台や床などに放置しないでください。**
けがの原因になります。

**○騒音防止規制について**
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

# 各部の名称

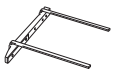



イラストは C6MEY

# 仕　様

| 形　　名 | C6MEY | C6UEY |
|---|---|---|
| 使　用　電　源 | 単相交流 50/60Hz 共用　　電圧 100V | |
| 最大切込み深さ | 90°····· C6MEY: 66mm、C6UEY: 65mm<br>45°····· 46mm、逆 5°····· 57mm | |
| のこ刃（チップソー） | 外径 165mm × 穴径 20mm | |
| | 刃数 52 | 刃数 72 |
| 使用できるのこ刃 | 外径 157mm ～ 165mm × 穴径 20mm | |
| 無負荷回転数 | 4,100min$^{-1}$｛回 / 分｝( パワーモード時 )<br>2,500min$^{-1}$｛回 / 分｝( サイレントモード時 ) | |
| 全負荷電流 | 12A | |
| 消　費　電　力 | 1050W | |
| モ　ー　タ　ー | ブラシレス | |
| 寸　法<br>全長 × 高さ × 全幅 | 262 × 250 × 188mm | |
| 質量 ( コードを除く ) | 2.5kg | 2.6kg |
| コ　ー　ド | 2 心キャブタイヤケーブル　5m | |
| LED ラ イ ト | 白色 LED | |
| サイレントモード表示ランプ | 青色 LED | |

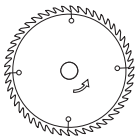
# 標準付属品

| 形名 ( 仕様 )<br>標準付属品 | C6MEY | C6MEY(N) | C6UEY | C6UEY(N) |
|---|---|---|---|---|
| チップソー | 1 枚<br>スタンダードタイプ<br>( 本体装着 ) | (別売) | 1 枚<br>スーパーチップソー<br>〔ブラック〕<br>( 本体装着 ) | (別売) |
| ボックススパナ | 1 個 | 1 個 | 1 個 | 1 個 |
| 六角棒スパナ 2.5mm | 1 個 | 1 個 | 1 個 | 1 個 |
| ロングガイド  | (別売) | (別売) | 1 個 | 1 個 |

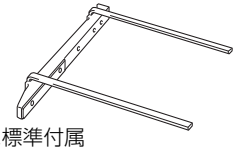
# 別売部品（別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください）

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

**各種のこ刃**
各種取りそろえております。
用途に応じてお選びください。



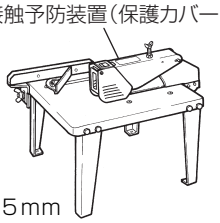
**ロングガイド**
ガイドバー前後２本のロングガイドです。
（P.22「ロングガイド」参照）



C6UEY に標準付属

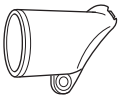
**ガイド**
ガイドバー 1 本の丸のこ用ガイドです。
（P.21「ガイド」参照）

**丸のこベンチスタンド**
**（接触予防装置付）**
PS7-BS3
丸のこで定置作業をする場合に用います。

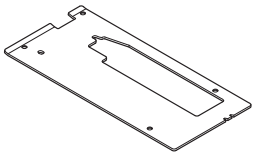



使用できるのこ刃：
外径１５７mm～１６５mm

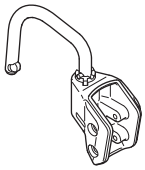
**ダクトアダプタ**
切粉排出口に取付けて、集じん機に接続します。
（P.23「ダクトアダプタ」参照）



**フッ素プレート**
材料との摩擦が少なく、なめらかな切断を可能にします。
（P.24「フッ素プレート」参照）



**フック**
単管 ( φ 48) や木材などに吊下げるときに便利です。
（P.23「フック」参照）



# ご使用前の準備

## ●作業場は整頓をし、明るくしてお使いください

## ●漏電しゃ断器の設置

本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

## ●延長コードを使う場合

### ⚠警告

**延長コードは損傷のないものを用意してください。**

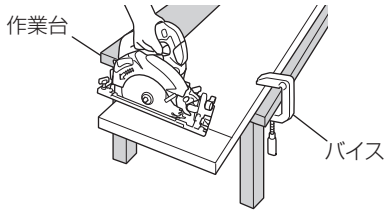
延長コードは、電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できる公称断面積と、最大の長さです。

| 公称断面積 ($mm^2$) | 最大の長さ（m） |
|---|---|
| 1.25 | 10 |
| 2 | 15 |
| 3.5 | 30 |

## ●作業台（木製）を用意します

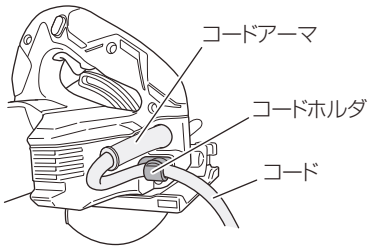
- のこ刃が材料の下面より出ますので、作業台の上に置いて材料を切断します。
- 材料の切り残し側を、しっかり押さえてください。
- バイスで固定するなどしてしっかり押さえれば、両手で作業することができます。




## ●コードホルダを使う場合

コードホルダを使用し、図のようにコードを製品本体の後側に出すことができます。

作業により、コードがじゃまになる場合はコードを引っ掛けて、コードの向きを変えてください。



# ご使用前の点検

## ⚠警告

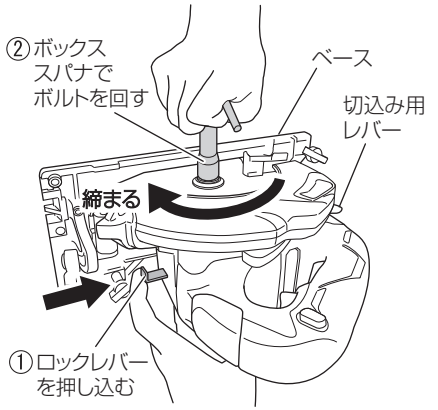
- **使用前に次のことを確認してください。手順 ❶～❺ については、電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。**
- **のこ刃の締付けボルト、切込み用レバー、傾斜用ツマミ（前）および、傾斜用ツマミ（後）が十分に締まっていることを確認してください。**
  ゆるんでいると、けがの原因になります。

## ❶ スイッチが切れていることを確かめる

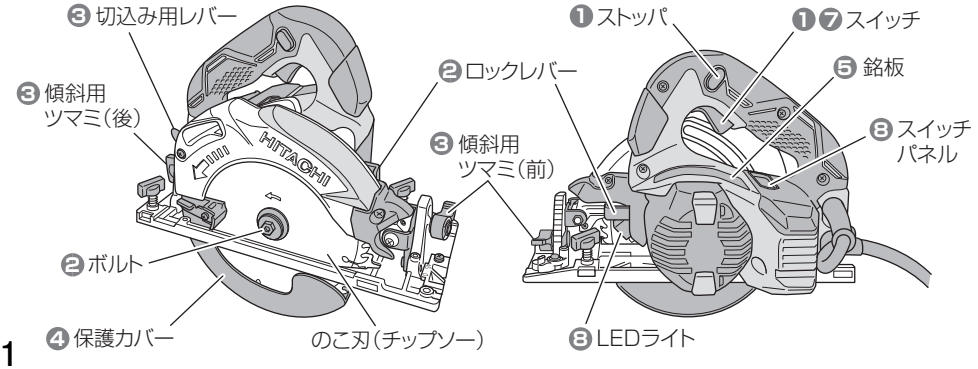
- 本製品は、スイッチが入っている状態で電源プラグをコンセントにさし込んでも起動しない構造となっていますが、万一の事故防止のためスイッチが切れていることを確認してください。
- スイッチを引き、ストッパがはずれていることを確認してください。
  (P.19「スイッチの操作について」参照)

## ❷ のこ刃の締付けを確かめる

- ロックレバーを押し込みながら、付属のボックススパナでボルトを時計方向に回すと、のこ刃の回転が止まる位置があります。その状態のまま締付けます。
- ボックススパナでボルトを締付ける際、ベースが邪魔になるときは切込み用レバーをゆるめベースを動かし切込み深さを浅くしてください。




**注 のこ刃を締付けた後、ロックレバーが元の位置に戻っていることを確認してください。**



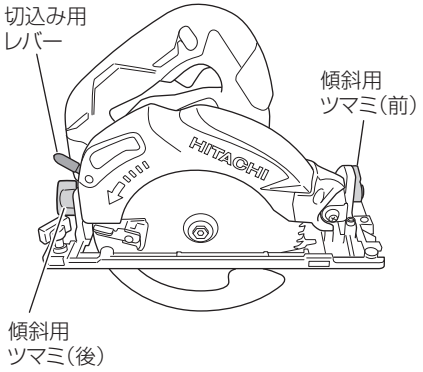
注 ❶ストッパや❷ロックレバーが元の位置に戻らない場合、❹保護カバーが円滑に動かない場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

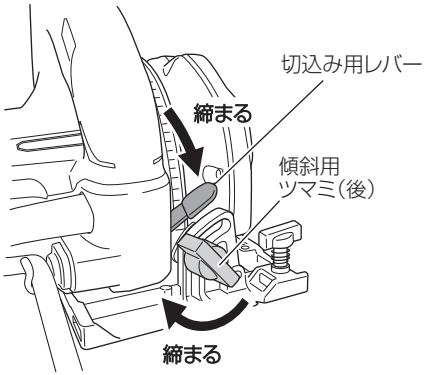
**⚠警告**

**保護カバーは、絶対に固定しないでください。**
のこ刃が露出していると、けがの原因になります。

## 3 傾斜用ツマミ(前)、傾斜用ツマミ(後)、切込み用レバーの締付けを確かめる

切込み用レバーは突き当たるまでしっかりと締付けてください。



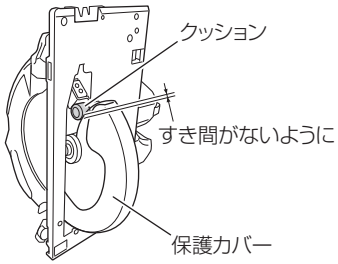




## 4 保護カバーの動きを確かめる

保護カバーは、身体がのこ刃に触れるのを防ぐものです。

必ずのこ刃をおおうように円滑に動くことを確認してください。

ベース面を垂直に立てたとき、保護カバーとクッションにすき間がないことを確認してください。




## 5 電源を確かめる

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に速くなり、機体が破壊する恐れがあります。

また、直流電源、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

## 6 コンセントを確かめる

コンセントががたついたり、電源プラグが抜けるようだと修理が必要です。

そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。

## ⚠注意

**ブレーキが働くときの反発力に注意してください。**

## 7 ブレーキがかかることを確かめる

この本体はスイッチを切ると同時に、のこ刃の回転にブレーキがかかる構造になっています。

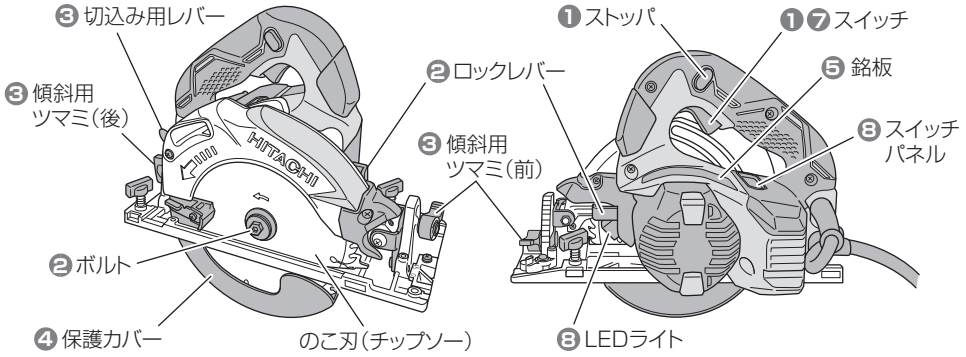
ご使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。

## 8 ライトの点灯を確かめる

- スイッチパネルの点灯モードスイッチを押すと点灯し、再度押すと消灯します。
- ライトは刃先の左右両側を照射します。

点灯モードスイッチ

注
- **ブレーキが正常に作動しない場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。**
- **溶接機のすぐ近くで作業すると回転が不安定になることがありますので、溶接機のすぐ近くでは使用しないでください。**



# 各種調整方法について

## ⚠警告

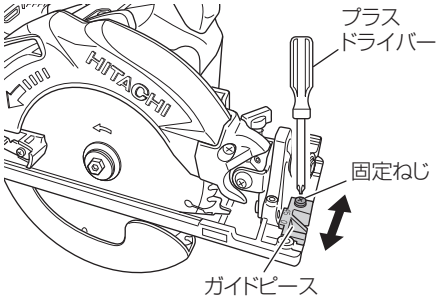
**調整の際は万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

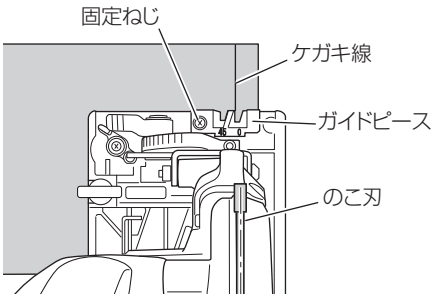
## ●ガイドピースの微調整

ガイドピースの取付け位置を微調整できます。

工場出荷の際には、ガイドピース切欠部の直線部分をのこ刃の刃部側面に合わせてありますが、取付け位置が狂った場合は、ガイドピースの固定ねじをゆるめ、位置を調整してください。

お手持ちのプラスドライバーで固定ねじをゆるめ、ガイドピースを左右に動かし位置を調整してください。

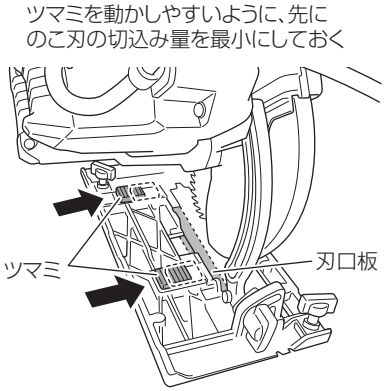



## ●刃口板の調整【C6UEY】

ベースの上側に取付けられたツマミ２個を同時に動かして、刃口板を移動し、ベース刃口幅を最小の位置にします。

小幅材の切断時に、切断した木片がベースの刃口に入り込まず、安定した作業ができます。




## ⚠警告

**直角に切断するとき以外は、ベース刃口幅を最大にしてください。**
保護カバーが刃口板に接触して、円滑に動かない恐れがあります。

## ●平行度の微調整

ベース側面とのこ刃の平行度を平行度調整ねじで微調整できます。
工場出荷の際に調整してありますが、平行度が狂った場合は次のように調整してください。

**注** **切込み深さを調整後、平行度の調整を行ってください。**
**(P.27「直角に切断する」❶ 参照)**
平行度調整後、切込み深さの調整を行うと、平行度が若干狂う場合があります。

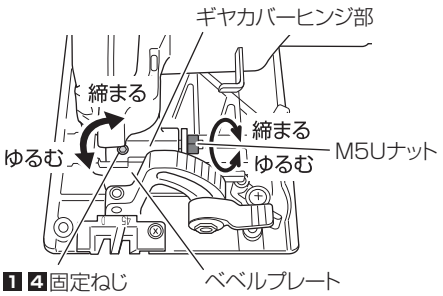
**1** ギヤカバーヒンジ部の固定ねじを付属の六角棒スパナでゆるめます。

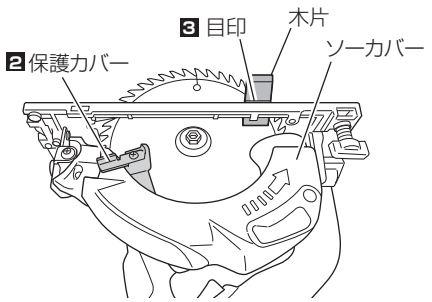
**2** 保護カバーをソーカバーの中に引き込み、のこ刃のベース後方側に木片を当て、ベース側面位置に目印を付けます。

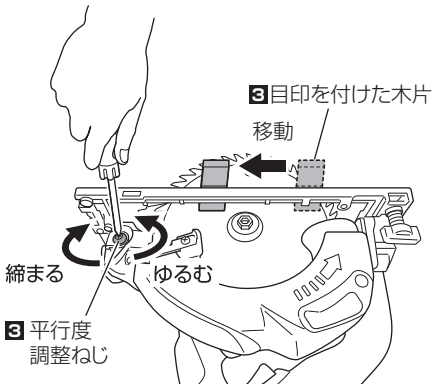
**3** 目印を付けた木片をベース前方側に移動し、平行度調整ねじをお手持ちのプラスドライバーで回して目印がベース側面に合うようにします。

**4** 調整後、固定ねじをしっかり締付けます。

**5** 平行度調整後、ギヤカバーヒンジ部にガタがある場合は、M5U ナットを締付けてください。
締付け過ぎると、ベベルプレートが変形してしまうので注意してください。



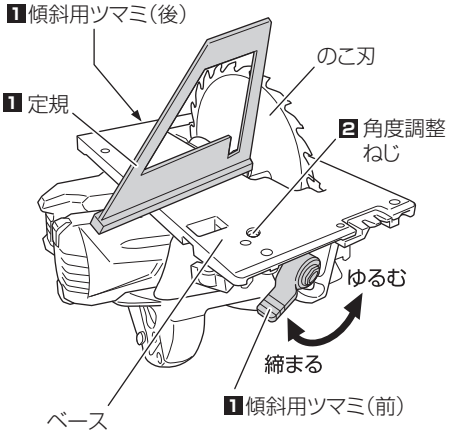
## ●直角度の微調整【C6MEY】

直角度 ( ベースとのこ刃の角度 ) を微調整できます。

工場出荷の際に調整してありますが、角度が狂った場合は次のように調整してください。

**1** 傾斜用ツマミ ( 前 ) および、傾斜用ツマミ ( 後 ) をゆるめ、ベース底面とのこ刃に定規を当てて直角を出し、傾斜用ツマミ ( 前 ) を軽く締めます。

**2** 角度調整ねじの先端がベースの金属製部品に当たるまで、付属の六角棒スパナで角度調整ねじを回し、傾斜用ツマミ ( 前 ) および、傾斜用ツマミ ( 後 ) をしっかりと締付けます。



## ●傾斜角度の微調整【C6UEY】

90˚と 45˚の傾斜角度（ベース底面とのこ刃の角度）を微調整できます。

工場出荷の際に調整してありますが、万一、角度が狂っていた場合は次のように調整してください。

**90˚の場合**

**1** 角度調整ねじを付属の六角棒スパナでゆるめます。

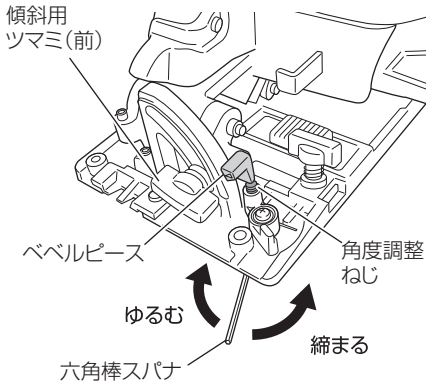
**2** 傾斜用ツマミ ( 前 )、傾斜用ツマミ ( 後 ) をゆるめます。

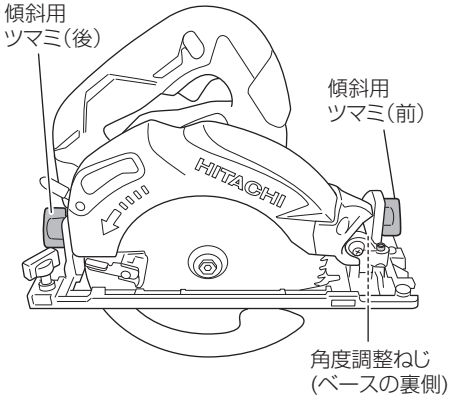
**3** ベース底面とのこ刃に定規を当てて角度を出し、傾斜用ツマミ ( 前 ) をしっかり締めます。

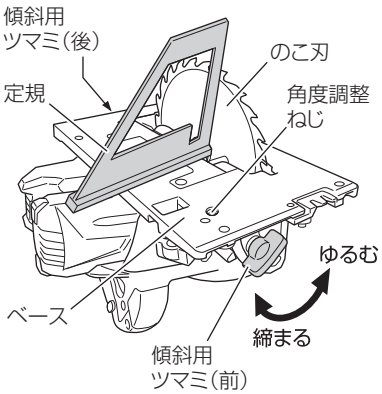
**4** 角度調整ねじをベベルピースに突き当たるよう締付けます。

**5** 調整後、傾斜用ツマミ ( 前 ) と傾斜用ツマミ ( 後 ) をしっかりと締付けます。

**6** 定規でのこ刃とベース底面が直角になっていることを確認してください。



### 45° の場合

**1** 角度調整ねじを付属の六角棒スパナでゆるめます。

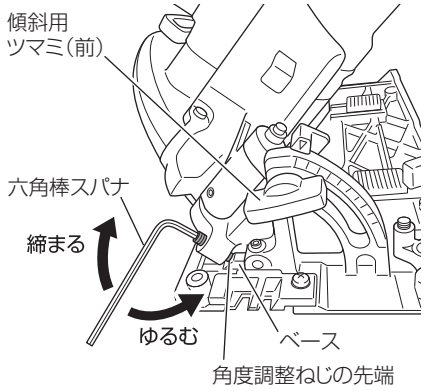
**2** 傾斜用ツマミ ( 前 )、傾斜用ツマミ ( 後 ) をゆるめます。

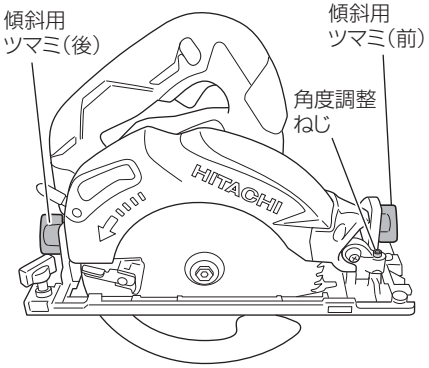
**3** ベース底面とのこ刃に定規を当てて角度を出し、傾斜用ツマミ ( 前 ) をしっかり締めます。

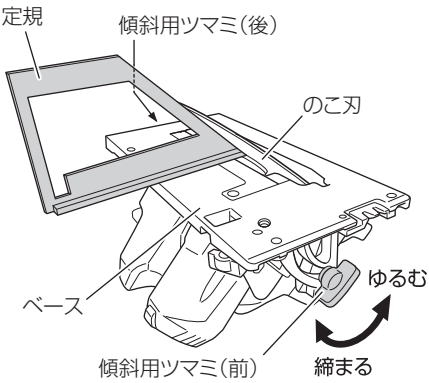
**4** 角度調整ねじをベベルピースに突き当たるよう締付けます。

**5** 調整後、傾斜用ツマミ ( 前 ) と傾斜用ツマミ ( 後 ) をしっかりと締付けます。

**6** 定規でのこ刃とベース底面が 45° になっていることを確認してください。



# 各種操作方法について

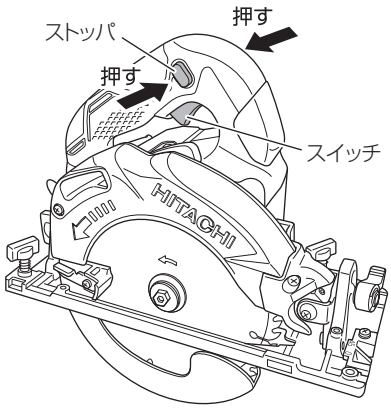
## ●スイッチの操作について

スイッチを引きながらストッパを 矢印側に押すと、ON 状態をキープできます。

スイッチが入った後は、スイッチをはなしても、のこ刃は回転を続けます。

再度スイッチを引いて戻すと、のこ刃の回転にブレーキがかかり停止します。

**注 本製品は、スイッチが入っている状態で、電源プラグをコンセントにさし込んでも起動しない構造となっています。このときは、再度スイッチを引き直すと起動します。**



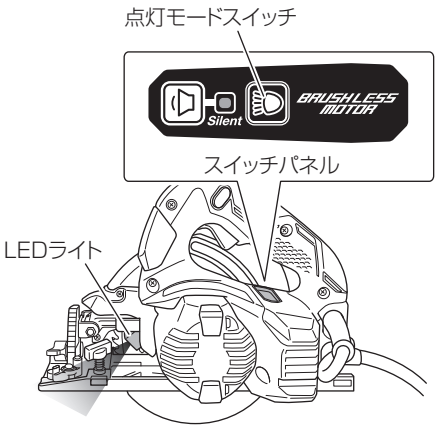

## ●LED ライトの使い方

### ⚠注意

**ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。**
ライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。

スイッチパネルの点灯モードスイッチを押すと LED ライトが点灯します。

LED ライトが点灯した状態で電源プラグをコンセントから抜くと消灯しますが、再度電源プラグをコンセントにさし込むと、同時に LED ライトが点灯します。




**注 ライトのレンズ部に付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、ライトのレンズ部に傷が付かないように注意してください。**
ライトのレンズ部に傷が付くと、明るさが低下する原因になります。

## ●モード切替機能について

モード切替スイッチを押すごとに、作業モードが切替わります。

サイレントモード時は、サイレントモード表示ランプが点灯します。

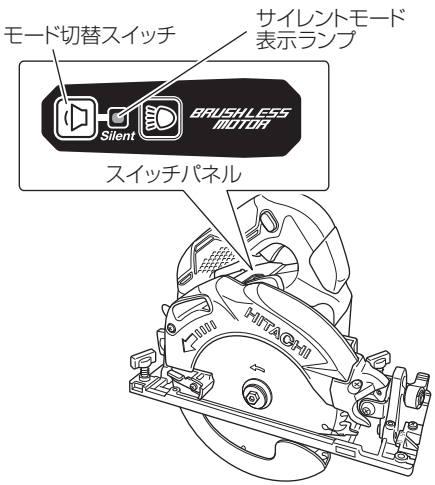
サイレントモードでは、モーターの最高回転数を低くすることで、騒音をおさえ効率の良い作業ができます。

サイレントモードで作業していても、負荷が大きくなるとパワーモードに自動的に切替わります。

また、負荷が小さくなるとサイレントモードに自動的に戻ります。

パワーモードでは、負荷が変化してもモードは自動的には切替わりません。

| モード | 無負荷回転数 |
|---|---|
| パワー | 4,100min⁻¹{回 / 分} |
| サイレント | 2,500min⁻¹{回 / 分} |

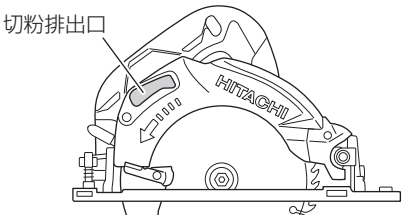



注
- **モード切替は電源プラグをコンセントに接続し、一度スイッチを引いた後でないと切替えできません。**
- **スイッチの入 / 切、電源プラグの抜き / さしをしても、設定したモードは維持されます。**

## ●切粉の排出について

切断された材料の切粉は、切粉排出口から出されますが、材料の種類・切断のやり方等によりましては、まれに切粉がつまることがあります。

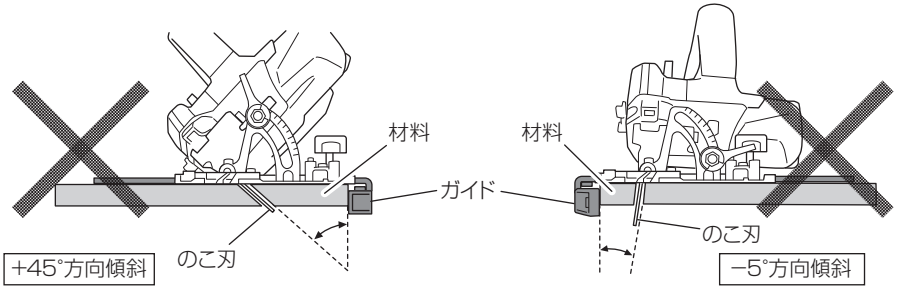
その際は、のこ刃をはずし、切粉排出口から空気を強く吹き付けるか、または、やわらかい針金等でつまった切粉を取除いてください。(P.33「のこ刃の交換」参照)



# 別売部品の取付け方

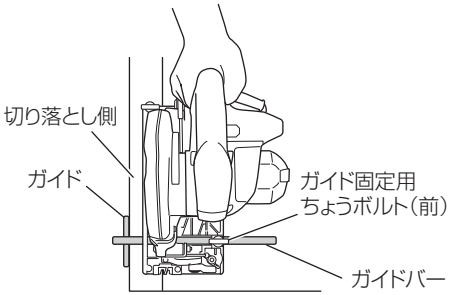
## ⚠警告

**ガイドを使用する際、のこ刃とガイドの間に切り落した材料がはさまるような傾斜切断はしないでください。**
思わぬけがの原因になります。




## ●ガイド

① ガイドバーを、ベース側面（切り落とし側）前方の穴に通します。
② ガイドを左右に動かして切断位置を調整し、前方のガイド固定用ちょうボルトを締付け、ガイドバーをしっかり固定します。

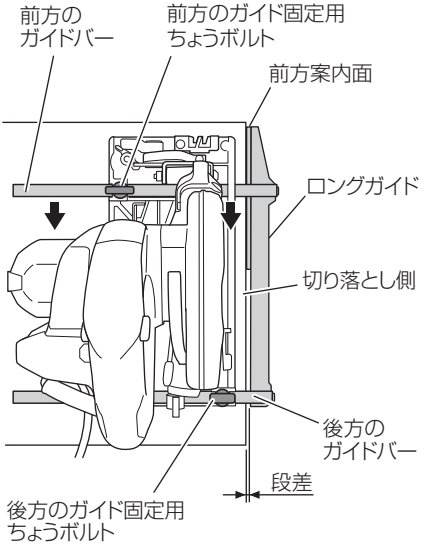


## ●ロングガイド (C6UYE に標準付属 )

通常のガイドより材料の端面に対して、より安定した平行度で切断することができます。
ロングガイドを使用する際、ガイド固定用ちょうボルトは前後 2 ヶ所使用します。

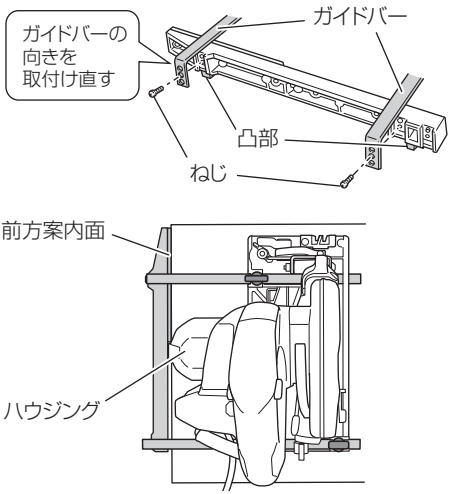
### 通常の取付け

① 前後のガイドバーをベース側面 ( 切り落とし側 ) の穴に通し、ロングガイドを左右に動かして切断位置を調整します。
② 前方のガイドバーを矢印側に押しつけながら、最初に前方のガイド固定用ちょうボルトを締付け、次に後方のガイド固定用ちょうボルトを締付け、ガイドバーをしっかり固定します。
③ ロングガイドの前方案内面を材料に沿わせて切断します。のこ刃のはさみ込み防止のため、ロングガイドの案内面後方に段差を設けてあります。




### ハウジング側への取付け

前後ガイドバー (2 本 ) を取付け直してご使用ください。
① ロングガイドのねじ (2 本 ) を取りはずします。
② ロングガイドの凸部が下にくるようにガイドバー (2 本 ) を取付け直します。これにより、前方案内面が前側になります。




使い方

## ●ダクトアダプタ

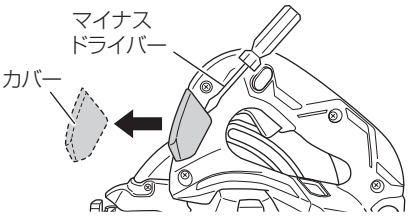
集じん機と接続する際、切粉排出口にダクトアダプタを取付けて使用します。
集じん機に接続する際、集じん機側のホース内径がφ 25mm のものが接続できます。
その他のホースサイズのものは、別売のホースアダプタが必要ですのでお買い求めの販売店にお問い合わせください。

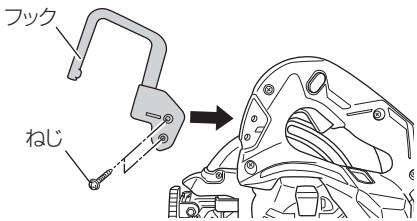
① ダクトアダプタの引掛部を切粉排出口前方にさし込みます。
② 本体付属の M 4ねじでダクトアダプタを締付けて固定します。

## ●フック

マイナスドライバーをすき間にさし込んで、ハンドルからカバーをはずします。

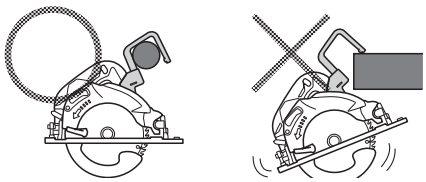
ハンドルにねじでしっかり固定します。



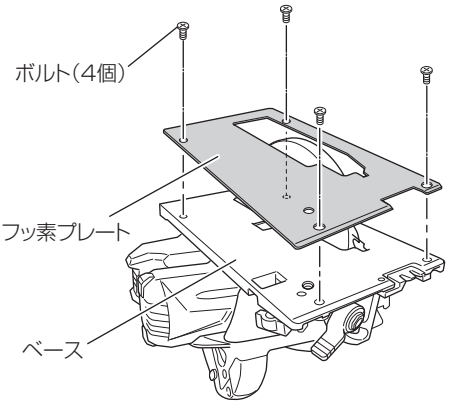

### ⚠注意

- **電源プラグをさしたまま、フックを使用しないでください。**
- **高所ではフックを使用しないでください。**
- **吊り下げ状態で引っぱったりしないでください。**
- **コードはひもなどで束ねてください。**



## ●フッ素プレート

ベースにボルトでしっかり固定します。

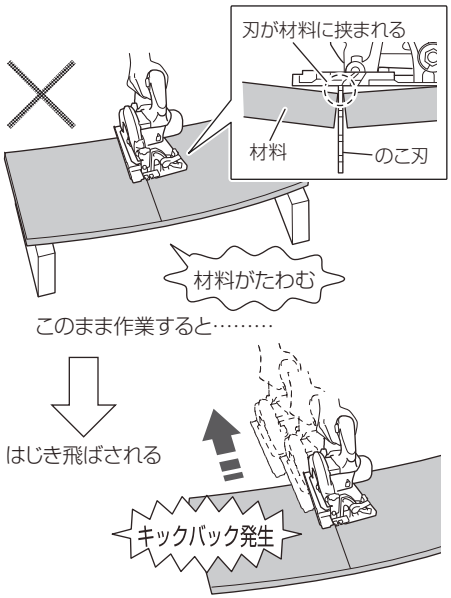



注
- **最大切込み深さが 2.5mm 浅くなります。**
- **木材以外を切断すると、フッ素コートがはがれ、ベースの滑りが悪くなります。**
- **フッ素コーティングされたベース面は、滑りが良いためモーター部に無理がかかりやすくなっています。本体を強く押しすぎないでください。**

# キックバックについて

## キックバックとは

回転中ののこ刃に、急激に大きな負荷がかかり、回転数が急速に低下したとき、反発によって材料もしくは丸のこ本体が作業者側にはじき飛ばされる現象です。




## キックバックを発生させる原因

キックバックを発生させる原因としては

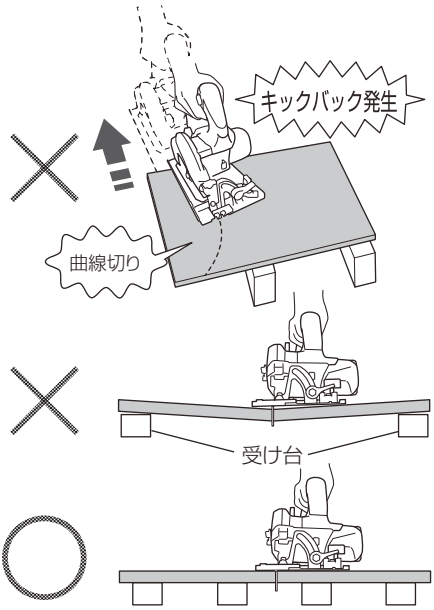
① 材料によるのこ刃の挟み込み
② 曲線切りなど、本体をこじる作業
③ 材料にのこ刃の刃先を当てた状態での起動

他にも、劣化したのこ刃の使用や硬い未乾燥材の切断、過度に深い切込み設定、過大な押しつけなど、複合的な原因があります。

## キックバックを避けるには

材料によるのこ刃の挟み込みは、キックバックが発生する最大の原因です。

材料の設置方法を注意することで、のこ刃の挟み込みを少なくすることができます。




材料の下に受け台を適切に設置します。

切断する材料が長い場合 、端部に近いところに受け台を設置すると、切断中に材料がたわんで、のこ刃を挟み込みます。

切断する部分に近い位置に受け台を設置するか、切り落とし側にも同じ高さの受け台を設置してください。

# キックバック軽減システムについて

本製品は、モーターの回転数の変化を監視し、のこ刃の挟み込み等により、モーターの回転速度が急速に低下したとき、瞬時にモーターを停止することで、キックバックの動きを軽減する「キックバック軽減システム」が搭載されています。

## キックバック軽減システムが作動したら…

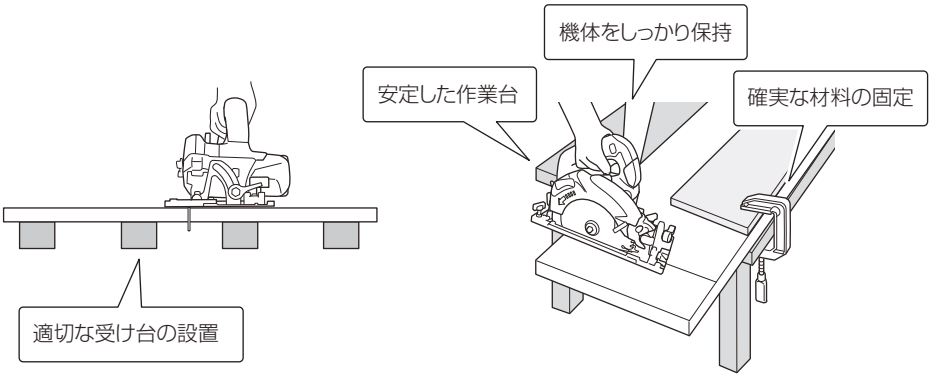
キックバック軽減システムが作動してモーターが停止したときは、

① 直ちに機体のスイッチを切る
② のこ刃にかかった負荷の原因を確認する
③ 過負荷となった原因を取除く
④ 再度スイッチを入れる
⑤ 切断を再開する

## 注意していただきたいこと

「キックバック軽減システム」は、作業時の状況・条件等により作動しない、あるいは性能を十分に発揮できない場合があります。

作業時は、確実な材料の設置・固定および本体の保持を行ってください。



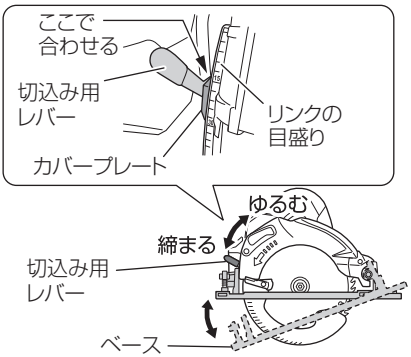
# 直角に切断する

## ⚠警告

- **万一の事故を防止するため、❶～❷はスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて調整してください。**
- **切込み深さを調整した後、ベースがしっかり固定されていることを確認してください。**
  ベースがしっかり固定されていないと、けがの原因になります。

### ❶ 切断する材料の厚みに応じて切込み深さを調整する

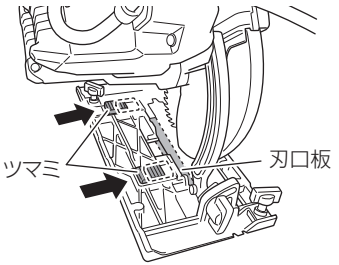
- 切込み用レバーをゆるめ、ベースを上下させて調整し、切込み用レバーを締付けてベースを固定します。
- リンクおよび保護カバーには、のこ刃外径 165mm 用のリンクの目盛がついています。
  目盛線は 3mm (1 分 ) 刻みです。
- カバープレート上端に目盛りを合わせてください。
- ベースとのこ刃が直角のときは、この目盛をを目安に切込み深さが調整できます。

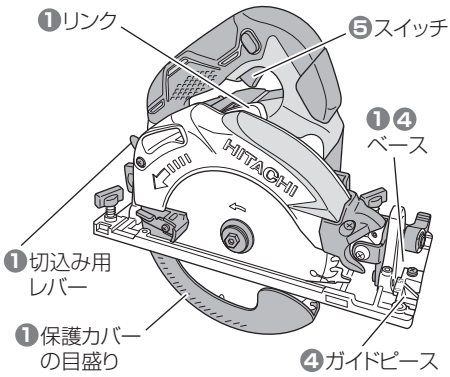



**注** **目盛り線は目安のため、正確に調整するときはのこ刃を測定してください。**

### ❷ 刃口板を調整します【C6UEY のみ】

- 小幅材の切断時に、切断した木片がベースの刃口に入り込まず、安定した作業ができます。
- 刃口板調整後、保護カバーが正常に動作することを確認してください。
  (P.14「 刃口板の調整 」参照 )

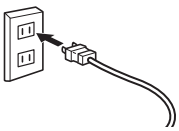


## ⚠警告

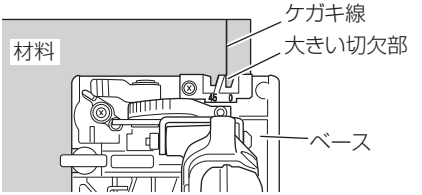
- **作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- **運搬時にはスイッチから指をはなしてください。**
  不用意にモーターが起動し、思わぬ事故をおこすことがあります。
- **切断中に本体をこじったり、強く押しすぎないでください。本体をまっすぐに静かに進めるようにしてください。**
  反発力を受け、けがの原因になります。また、モーター部に無理がかかるとともに、のこ刃の寿命を短くします。
- **のこ刃を上向き、横向きにした使い方は絶対にしないでください。**
  けがの原因になります。

## 3 電源プラグをコンセントにさし込む



## 4 ケガキ線に合わせる

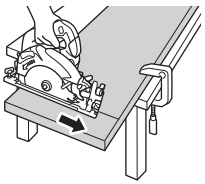
材料の上に本体 ( ベース ) をのせ、ケガキ線にガイドピース切欠部を合わせます。
大きい切欠部 ( 0° 傾斜時使用 ) を目安にしてください。




注
- **切断を始める前に、のこ刃の回転が最高速になるようにしてください。**
- **ロックレバー (P.7 の図参照 ) は、のこ刃軸を固定するものです。モーター運転中は絶対に押さないでください。**
- **材料からベース底面が浮き上がった状態で切断しないでください。**
  モーターがロックする場合があります。
- **のこ刃のロック等により切断を途中で中断したときは、スイッチを切り必ず最初の切断位置まで本体を戻してから、再度スイッチを入れ切断を始めてください。**
  数秒間ロックを続けると、モーターの故障や蓄電池の寿命を著しく短くする原因になります。
- **連続運転等により、本体に内蔵されているコントローラの温度が上がり、モーターが停止する場合があります。これはコントローラの保護機能によるもので、故障ではありません。このときは、本体をしばらく休ませてください。再びご使用になれます。**

## 5 スイッチを入れ、ゆっくり前方に進める

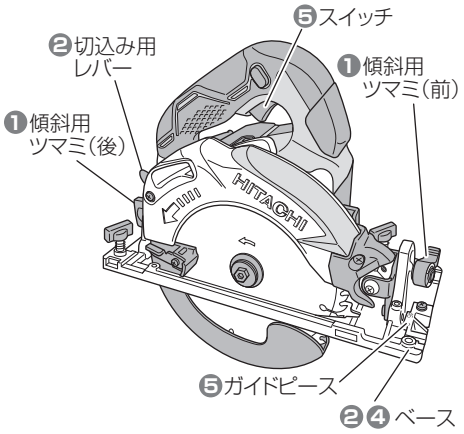
- のこ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れ、そのまま本体をゆっくり前方に進め、切り終るまでこの状態を保つようにします。
- ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。



# 傾斜切断する（＋45°方向）

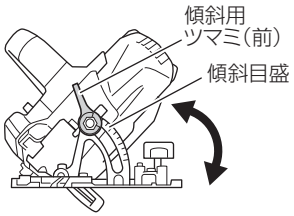
## ⚠警告

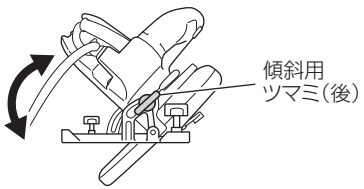
- **万一の事故を防止するため、❶～❷はスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で調整してください。**
- **調整後、傾斜用ツマミ（前）、傾斜用ツマミ（後）および、切込み用レバーを十分に締付けてください。**
  ゆるんでいると、けがの原因になります。




## ❶ 傾斜角度を調整する

- 傾斜用ツマミ（前）および、傾斜用ツマミ（後）をゆるめ、傾斜角度を調整します。
  のこ刃をベースに対して、最大 45° まで傾けることができます。

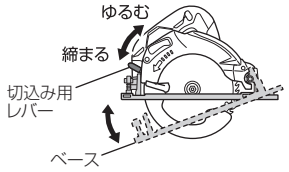



- 傾斜用ツマミ締付け部に 5° 刻みの傾斜目盛が付いています。
  正確な角度で切断したい場合はベースとのこ刃の角度を定規で測定してください。

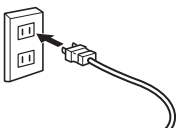
## ❷ 切断する材料の厚みに応じて切込み深さを調整する

切込み用レバーをゆるめ、ベースを上下させて調整し、切込み用レバーを締付けてベースを固定します。




注 **保護カバーに付いている目盛線は傾斜切断のときは使えません。**
切込み深さを調整するときは、のこ刃の切込み深さを実測してください。

## ❸ 電源プラグをコンセントにさし込む

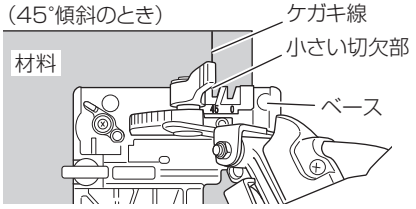


## ⚠警告

- **作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- **運搬時にはスイッチから指をはなしてください。**
  不用意にモーターが起動し、思わぬ事故をおこすことがあります。
- **切断中に本体をこじったり、強く押しすぎないでください。本体をまっすぐに静かに進めるようにしてください。**
  反発力を受け、けがの原因になります。また、モーター部に無理がかかるとともに、のこ刃の寿命を短くします。
- **のこ刃を上向き、横向きにした使い方は絶対にしないでください。**
  けがの原因になります。

## 4 ケガキ線に合わせる

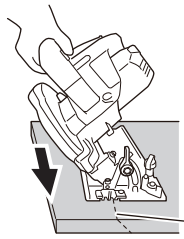
45˚傾斜するときは、材料の上に本体(ベース)をのせ、ケガキ線にガイドピースの小さい切欠部を目安に合わせます。




注
- **切断を始める前に、のこ刃の回転が最高速になるようにしてください。**
- **ロックレバー (P.7 の図参照) は、のこ刃軸を固定するものです。モーター運転中は絶対に押さないでください。**
- **材料からベース底面が浮き上がった状態で切断しないでください。**
  モーターがロックする場合があります。
- **のこ刃のロック等により切断を途中で中断したときは、スイッチを切り必ず最初の切断位置まで本体を戻してから、再度スイッチを入れ切断を始めてください。**
  数秒間ロックを続けると、モーターの故障や蓄電池の寿命を著しく短くする原因になります。
- **連続運転等により、本体に内蔵されているコントローラの温度が上がり、モーターが停止する場合があります。これはコントローラの保護機能によるもので、故障ではありません。このときは、本体をしばらく休ませてください。再びご使用になれます。**

## 5 スイッチを入れ、ゆっくり前方に進める

- のこ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れ、そのまま本体をゆっくり前方に進め、切り終るまでこの状態を保つようにします。
- ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。



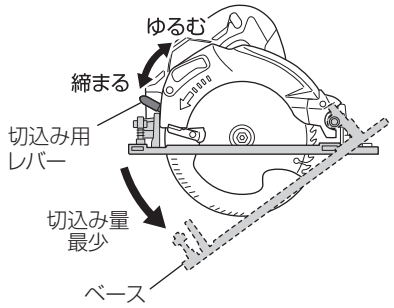
# 傾斜切断する（−5°方向）

## ⚠警告

- **万一の事故を防止するため、❶～❹はスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で調整してください。**
- **調整後、傾斜用ツマミ（前）、傾斜用ツマミ（後）および、切込み用レバーを十分に締付けてください。**
  ゆるんでいると、けがの原因になります。

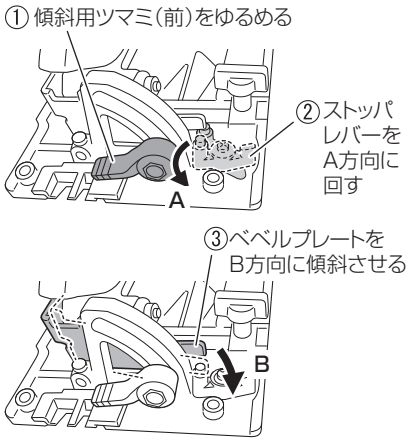
### ❶ 切込みを浅くする

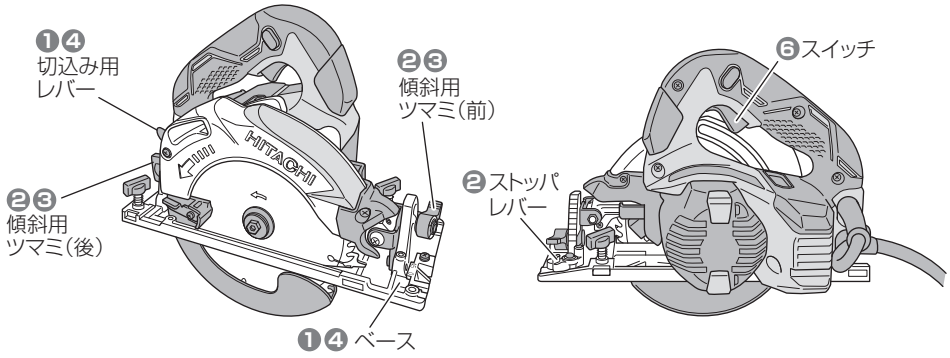
切込み用レバーをゆるめ、のこ刃の切込み量を最小にします。




### ❷ 本体を傾斜させる

傾斜用ツマミ（前）および、傾斜用ツマミ（後）をゆるめ、ストッパレバーを矢印 A 方向に回しながら、本体を矢印B方向に傾斜させます。



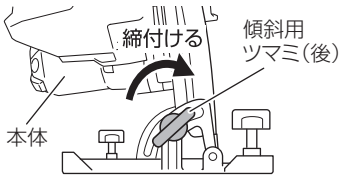
## ⚠警告

- **作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- **運搬時にはスイッチから指をはなしてください。**
  不用意にモーターが起動し、思わぬ事故をおこすことがあります。
- **切断中に本体をこじったり、強く押しすぎないでください。本体をまっすぐに静かに進めるようにしてください。**
  反発力を受け、けがの原因になります。また、モーター部に無理がかかるとともに、のこ刃の寿命を短くします。
- **のこ刃を上向き、横向きにした使い方は絶対にしないでください。**
  けがの原因になります。

## 3 傾斜用ツマミ(前)、傾斜用ツマミ(後)を締付ける

本体傾斜後、傾斜用ツマミ(前)および、傾斜用ツマミ(後)をしっかりと締付けます。

傾斜用ツマミ(前)




注
- **切断を始める前に、のこ刃の回転が最高速になるようにしてください。**
- **ロックレバー (P.7 の図参照) は、のこ刃軸を固定するものです。モーター運転中は絶対に押さないでください。**
- **材料からベース底面が浮き上がった状態で切断しないでください。**
  モーターがロックする場合があります。
- **のこ刃のロック等により切断を途中で中断したときは、スイッチを切り必ず最初の切断位置まで本体を戻してから、再度スイッチを入れ切断を始めてください。**
  数秒間ロックを続けると、モーターの故障や蓄電池の寿命を著しく短くする原因になります。
- **連続運転等により、本体に内蔵されているコントローラの温度が上がり、モーターが停止する場合があります。これはコントローラの保護機能によるもので、故障ではありません。このときは、本体をしばらく休ませてください。再びご使用になれます。**

## 4 切断する材料の厚みに応じて切込み深さを調整する

注 **保護カバーに付いている目盛線は傾斜切断のときは使えません。**
切込み深さを調整するときは、のこ刃の切込み深さを実測してください。

## 5 電源プラグをコンセントにさし込む

## 6 スイッチを入れ、ゆっくり前方に進める

# のこ刃の交換

## ⚠警告

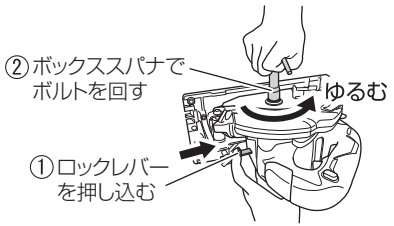
- **のこ刃を交換するときは、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
  思わぬ事故の原因になります。
- **のこ刃の交換は、安定した台や床の上で行ってください。**
- **ボルトの着脱は、付属のボックススパナで作業してください。**
  付属以外の工具を使用すると、締過ぎや締付け不足になり、けがの原因になります。

### 1 切込み用レバーをゆるめ、切込み深さを大きくする

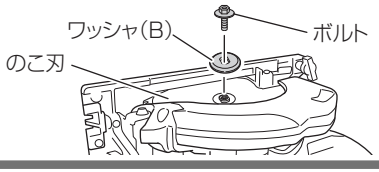
(P.27 の ❶ 参照)

### 2 のこ刃軸を固定する

ロックレバーを押し込みながら、付属のボックススパナで、ボルトを反時計方向に回すと、のこ刃の回転が止まる位置があります。
この状態でのこ刃軸が固定されます。

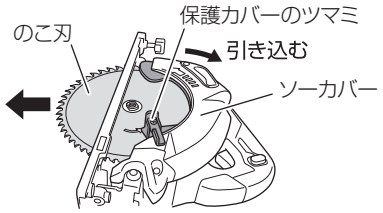


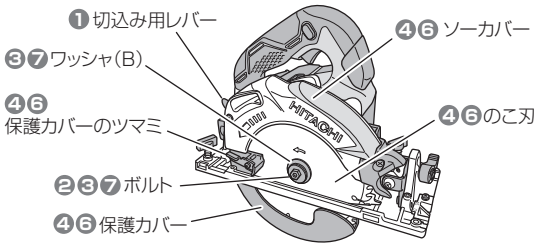

### 3 六角棒スパナを反時計方向に回し、ボルトとワッシャ(B) をはずす

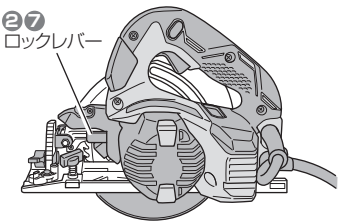



### 4 のこ刃を取りはずす

保護カバーのツマミを持って、保護カバーをソーカバーの中に引き込み、のこ刃を取りはずします。



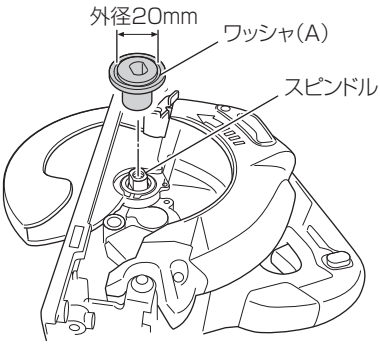



注 のこ刃の取付け前にソーカバー内側やスピンドル、ワッシャ (A)、ワッシャ (B) に付いている切りくずをよくふき取ってください。

## 5 ワッシャ (A) の穴形状をスピンドルの形状に合わせてさし込む

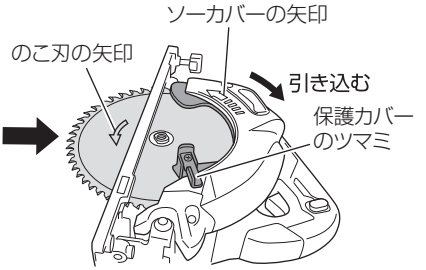
ワッシャ (A) は、穴径 20mm ののこ刃だけが取付けできるようになっています。




注 切断トイシは使用できません。

## 6 のこ刃を取付ける

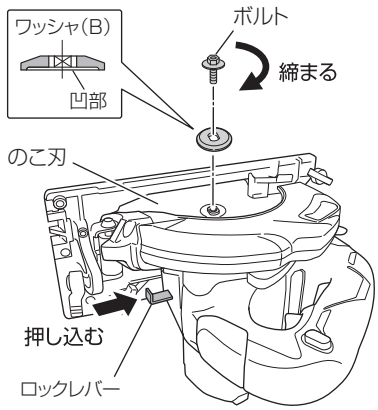
保護カバーのツマミを持って、保護カバーをソーカバーの中に引き込み、のこ刃の矢印がソーカバーの矢印方向と一致するようにのこ刃を取付けます。




注 ワッシャ (A)、ワッシャ (B) は必ず本体に取付けてあるものを使用してください。

## 7 のこ刃を固定する

ワッシャ (B) の凹部をのこ刃側にして取付け、ロックレバーを押し込みのこ刃軸を固定して、付属のボックススパナで、ボルトを時計方向に十分に締付けます。
(P.11 の ❷ 参照)




## 8 のこ刃の取付けを確認する

ロックレバーを押さない状態で、ボックススパナでボルトをしまる方向に回すと、のこ刃が回転します。
ガタつきやブレがなく、円滑に回転することを確認してください。

注 のこ刃を締付けた後、ロックレバーが元の位置に戻っていることを確認してください。

# 保守・点検

## ⚠警告

- **点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- **エアーガンなどを用いて風穴や保護カバーなどに空気を吹き込む際には、保護メガネと防じんマスクを使用してください。**
  排出された切粉等を吸い込んだり、目に入る可能性があります

## ●取付ねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。
そのまま使用すると危険です。

## ●お手入れする

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

## ●のこ刃の点検

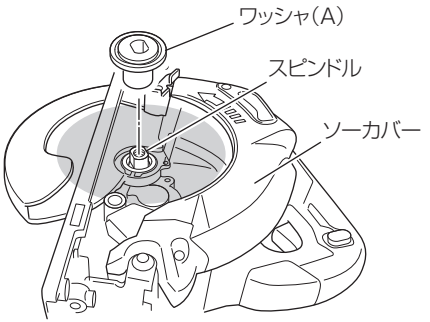
### ⚠警告

**切れ味の悪くなったのこ刃はそのまま使用しないでください。**
無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。早めに新品と交換してください。

## ●ソーカバー内側部の掃除

切粉等がたまらないように定期的に点検・掃除してください。
点検・掃除は、のこ刃を取りはずして行ってください。



## ●モーターの回転伝達部について

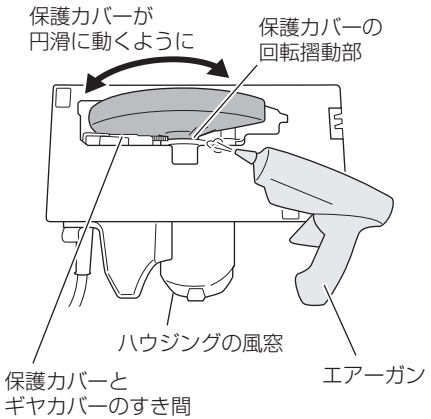
- 本製品は、切断時の振動低減のため回転伝達部にゴムダンパを使用しております。
- 50 時間程度使用して、振動が大きくなってきたと感じられたらゴムダンパの摩耗・変形が考えられますので、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
  ゴムダンパが摩耗・変形したまま使用し続けると、故障の原因になります。

## ●モーター部の取扱いについて

- モーター部 (P.7「各部の名称」参照 ) の巻線は機体の重要な部分です。
  巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。
- 50 時間程度使用しましたら、エアーガンなどを用いて湿気のない空気をハウジングの風穴から吹き込んでください。
  モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

## ●保護カバーの動作点検と保守

- 保護カバーは、いつも円滑に動作するようにしてください。
  なお、不具合のときは速やかに修理するようにしてください。
- お手入れ・掃除の際には、エアーガンなどを用いて湿気のない空気を保護カバーの回転摺動部や保護カバーとギヤカバーのすき間へ吹き込んでください。
  切粉等の排出に効果があります。
  保護カバーの周りに切粉等がたまると、動作の不具合や故障の原因になります。



## ●作業後の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

注
- **お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。**
- **軒先など雨がかかったり、湿気のある場所には保管しない。**
- **温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。**
- **引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。**

# 故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

| 状　況 | 原　因 | 対　策 |
|---|---|---|
| 動かない | 電源プラグが抜けている | 電源プラグを確実にコンセントにさし込んでください。 |
| | 本体が過熱状態になっている | 本体を十分冷ましてください。 |
| 突然止まった | 過負荷になった | 大きな負荷を与えた原因を解消してください。 |
| | キックバック軽減システムが作動 | |
| | 本体が過熱状態になった | 本体を冷ましてください。 |
| 傾斜できない | 傾斜用ツマミ(前)、傾斜用ツマミ(後)がゆるんでいない | 傾斜用ツマミ(前)、傾斜用ツマミ(後)をゆるめてから傾斜させてください。 |
| 傾斜すると保護カバーが戻らない | 刃口板がベース端面より出ている | 傾斜時は刃口板を収納してください。 |
| 逆傾斜できない | 切込みが最大になっている | 切込みを浅くしてから逆傾斜させてください。 |
| | 傾斜用ツマミ(前)、傾斜用ツマミ(後)がゆるんでいない | 傾斜用ツマミ(前)、傾斜用ツマミ(後)をゆるめてから傾斜させてください。 |
| 平行度微調整できない | ギヤカバーヒンジ部の固定ねじがゆるんでいない | ギヤカバーヒンジ部の固定ねじをゆるめてください。 |
| 切れ味が悪い | のこ刃が磨耗・欠けている | 新品と交換してください。 |
| | ボルトがゆるんでいる | しっかりと締め込んでください。 |
| | のこ刃が逆に付いている | のこ刃を正しい方向に取付けてください。 |
| 切粉の排出がわるい | ソーカバー内に切粉が詰まっている | ソーカバー内の切粉を取除いてください。 |
| 刃口板が動かない | 片方のツマミしか操作していない | 前後2つのツマミを操作して刃口板を操作してください。 |
| 切断時の振動が大きくなってきた | モーターの回転伝達部のゴムダンパが摩耗・変形した | お買い上げの販売店に交換を依頼してください。 |

# ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

## お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

| お買い上げ日　　年　月　日 | 製造番号 (NO.) |
|---|---|
| 販売店（TEL） | |

## 全国営業拠点

**お客様相談センター**　※土・日・祝日を除く　9：00 ～ 17：00

●フリーダイヤル
**0120-20-8822**

※携帯電話からはご使用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

| ●営業本部 | ●北陸支店 |
|---|---|
| TEL (03)5783－0626 | TEL (076)263－4311 |
| **●北海道支店** | **●関西支店** |
| TEL (011)896－1740 | TEL (0798)37－2665 |
| **●東北支店** | **●中国支店** |
| TEL (022)288－8676 | TEL (082)504－8282 |
| **●関東支店** | **●四国支店** |
| TEL (03)5733－0255 | TEL (087)863－6761 |
| **●中部支店** | **●九州支店** |
| TEL (052)533－0231 | TEL (092)621－5722 |

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html

WEB にアクセス

右の QR コードをバーコードリーダー機能付きの携帯端末より読み取ることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 ( 品川インターシティ A 棟 )
営業本部　TEL (03) 5783-0626（代）

電動工具ホームページ――http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

部品コード　C99712702　502 G